



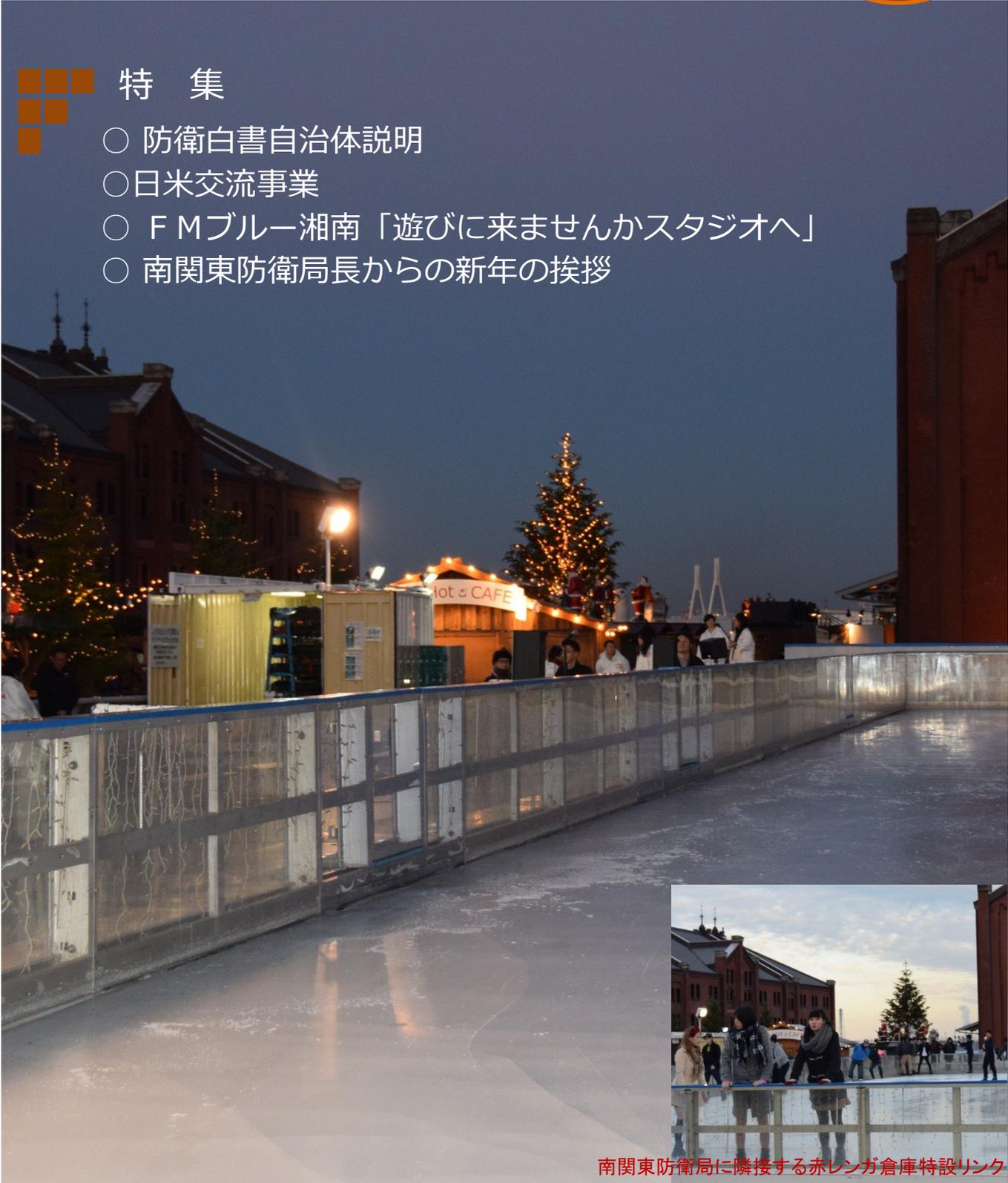
# 南関東防衛

平成28年  
冬号

平成28年冬号 年4回発行 第10号

## 特集

- 防衛白書自治体説明
- 日米交流事業
- FMブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ」
- 南関東防衛局長からの新年の挨拶



南関東防衛局に隣接する赤レンガ倉庫特設リンク

# 防衛白書

平成27年版防衛白書の地元自治体への説明

7月21日の閣議において、報告し、了承されました平成27年版防衛白書をわが国の防衛政策への理解を深めていただくため、南関東防衛局では防衛白書の内容について管内の自治体に対して、局長以下の職員が9月から12月にかけて局管内の関係自治体に赴き、説明を行ってまいりました。今回は、防衛白書についての自治体の皆様への説明の様子を紙上で紹介します。

当局管内の防衛施設関係自治体においては、新たな取り組みとなる平和安全法制2法案について、あるいは空母の交代等の新たな動きを身近に感じていた首長の方々から興味をもつて、説明を聞いていただけ、わが国の防衛政策への理解を深めていただけました。

平成27年版防衛白書については、①一層厳しさを増すわが国を取り巻く安全保障環境、また、ISなどの国際テロ組織の活動の活発化・拡散などグローバルな安全保障環境におけるリスク、②平和安全法制2法案の経緯と概要、新ガイドラインや日米2+2、沖繩の負担軽減などを含めた日米同盟の強化や③防衛省改革等を内容として発行、配布されました。

平成27年9月10日に座間市長に丸井前南関東防衛局長が説明を行ったのを皮切りに、土本南関東防衛局長以下の職員が、最後に土本局長が、12月9日の神奈川県知事に説明を行うまで、約3か月の間に、105か所の自治体（地方協力本部説明分含む。）に対して説明を行いました。



写真：静岡県知事に防衛白書を手交する土本局長



写真：静岡県知事室での説明の様子



写真：左から土本局長、黒岩神奈川県知事、松田神奈川県地方協力本部長

FMブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ（防衛トーク）」では、毎月第3木曜日午後3時から南関東防衛局長等が出演し、パーソナリティの灯織（ひおり）さんとともに日本の防衛政策などについて紹介しています。

11月19日は、10月1日付で南関東防衛局長となった土本局長が「防衛問題セミナー」「防衛白書」を通じた防衛政策の広報や、昨年9月に成立した平和安全法制について説明しました。

（防衛白書、平和安全法制について）

27年版の防衛白書には、新たに、日米防衛協力の指針の見直し、防衛省改革・防衛省の組織改編や、平和安全法制に関する法律の概要を記述しています。

併せて、わが国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増しているということについて記述するとともに、わが国を守り抜くための「統合機動防衛力」の整備、積極的平和主義の理念の下に進めている各国との安全保障協力等についてわかりやすく説明しています。

また、本年9月に国会で成立させていただくことが出来ました平和安全法制に係る法律については、法律の策定に携わっていた者として大変嬉しく思います。

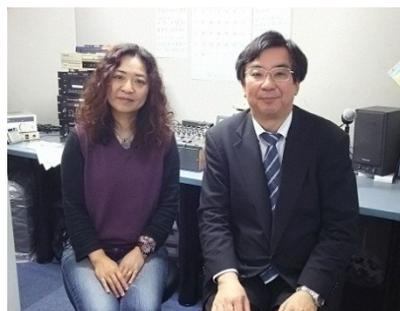
この法律は、日本周辺の安全保障が厳しさを増す中で、いかなる事態においても日本国民の命と平和な暮らしを守り、また、国際社会の平和と安定に一層貢献するため、これまでの不備、穴を埋め、「抑止力」すなわち、「戦争を未然に防ぐ力」、この抑止力というものを高め、国際協力の機会を広げるものです。

（防衛問題セミナーについて）

防衛問題をより身近に感じ、理解を深めていただくことを目的に南関東防衛局では「防衛問題セミナー」と題するセミナーを開催しています。

一回は、防衛大臣政策参与の森本敏元防衛大臣を講師に招き、「わが国の安全保障環境への対応と沖縄の基地負担軽減に向けて」をテーマに、1月26日、火曜日、横浜市中区の神奈川県民ホールにおいて開催します。

防衛問題を身近なものとして、そして自分の問題として感じていただければと思っております。



写真右から、土本局長、パーソナリティの灯織さん

また、12月17日は、土本局長と伊藤防衛補佐官が出演し、海上自衛隊における航空部隊について話しをしました。

写真右から、土本局長、パーソナリティの灯織さん、伊藤防衛補佐官

（海上自衛隊における航空部隊）



海上自衛隊における航空機の主な役割は何かというと、潜水艦や艦艇の捜索や攻撃、洋上における警戒監視活動や遭難船舶の捜索及び救助といった災害派遣での活動などがあります。

特徴は、海上自衛隊の航空機にはパイロットの他にも複数の隊員が搭乗しており、この複数の搭乗員が一つのチームになって任務に充たることです。

こうしたチームで任務を遂行する能力は、現在も継続中のソマリヤ沖・アデン湾での海賊対処でも発揮されています。

（横須賀と海軍航空部隊との関わり）

京浜急行の追浜（おっぱま）駅から東へ約2キロ、日産自動車の工場群の向い側に「貝山緑地」という緑豊かな丘があります。この入口から坂を登ると、「海軍航空発祥の地」と書かれた碑があります。

その碑のとおり、ライト兄弟による初飛行から9年後の明治45年に海軍航空術研究委員会が横須賀に設置されました。

そして同時期に、フランスから輸入した水上機を海軍大尉が操縦し、日本海軍初の航空機による飛行に成功したのがこの場所になります。

その後大正5年に横須賀海軍航空隊がこの場所に開設され、操縦員である士官搭乗員の教育も行われてきました。

# 日米交流スポーツフェスタ in 逗子

南関東防衛局では、米軍基地が所在する関係自治体及び周辺住民の方々と米軍人及びその家族との人的交流を通じて、相互理解を深めることが重要であるとの観点から、スポーツ、音楽、文化活動などによる日米交流事業を実施しています。

今回、第9回目となる日米交流事業は、11月14日、逗子市池子の森自然公園にて「日米交流スポーツフェスタ in 逗子」として実施されました。当日はあいにくの雨天にもかかわらず、元気いっぱいな日米の子供たちが多く参加しました。

11月14日、池子住宅地区及び海軍補助施設に隣接する逗子市池子の森自然公園スポーツエリアを会場として、平成27年度日米交流スポーツフェスタが開催されました。本イベントは逗子市や米海軍、逗子葉山ラグビースクール及びボランティアアスタツフ等の多大なご協力により無事この日の開催を迎えたものでした。

当日は、土本南関東防衛局長による主催者挨拶、平井逗子市長、米海軍アギレラ支所長の来賓挨拶の後、受付でミニマラソンの参加登録を済ませた逗子市民の皆様や米軍人及びその家族の方々と約130名が、土本局長の号砲を合図にスタートしました。

参加者達  
ミニマラソンのスタートを待つ



主催者挨拶をする土本南関東防衛局長



来賓者挨拶をする平井逗子市長



来賓者挨拶をするアギレラ支所長





写真：タグラグビー



写真：ストラックアウト



写真：キックターゲット

それに引き続き、日米の児童によるタグラグビー親善試合が行われました。ほかにも投球によりの当てを行うストラックアウト、同様にボールをキックするキックターゲット等のアトラクションコーナーに親子連れが参加し、訪れた日米約230名の家族や関係者の方々も一緒に遊んで楽しんでました。

また、中央広場に設置された特設テントでは日米の子どもたちによる餅つきが行われ、合わせて雨に冷え切った体を温める豚汁もふるまわれ、日米の参加者は笑顔で突き立ての餅と一緒に食べました。



写真上下：餅つき

今回の日米交流事業は、逗子市としては初めての試みでしたが、多くの関係者のご理解とご協力により成功裡に終えることができました。今後、皆さまから喜んでいただけるような日米交流事業の企画・実行に努めて行きます。

### 「池子住宅地区及び海軍補助施設の一部土地等の共同使用」

写真は共同区域内施設



400mトラック



緑地エリア

今回の会場となった「池子の森自然公園」は、逗子市が公園として使用するため申請していた、池子住宅地区及び海軍補助施設の約40ヘクタールの土地等について、平成26年6月の日米合同委員会での承認を経て、現地実施協定の締結など共同使用の開始に必要な手続を完了。南関東防衛局長から同年11月27日、逗子市役所を訪問し、平井逗子市長に一時使用許可書を手交したものです。

これに対して、平井市長は「これまでの南関東防衛局を始め防衛本省及び米側の協力に感謝するとともに、今後の日米交流に資するような公園を目指したい」との決意を述べ、平成26年11月30日から共同使用が開始されました。

## 相模総合補給廠の一部土地の共同使用が開始



写真：加山市長に一時使用許可書を手交する土本局長

相模原市が公園として使用するため申請していた、相模総合補給廠の約35ヘクタールの土地について、12月2日から共同使用が開始されました。

これに合わせ、土本南関東防衛局長は、同日、相模原市役所を訪問し、加山相模原市長に一時使用許可書を手交しました。これについて、加山市長は、一時使用許可を得られたことに感謝の意を述べられました。

本共同使用については、「再編の実施のための日米ロードマップ」に基づく事案であり、着実な実施に取り組んできた結果であると認識しております。

## 第240回海兵隊創立記念日を祝しての「キャンプ富士ケーキカットセレモニー」



写真：【ケーキカットセレモニーの様相(中央フィンリー司令官)】

静岡県東富士演習場に隣接する在日米海兵隊キャンプ富士では、第240回海兵隊創立記念日を祝し、キャンプ富士において関係機関及び地元を招待してのケーキカットセレモニーが11月10日(火)午前10時から施設内のクラブロードハウスで実施されました。

同セレモニーには地元自治体、陸上自衛隊富士学校等と合わせて土本南関東防衛局長も招待され、セレモニーに参加しました。式典は厳粛な雰囲気の中で行われました。

キャンプ富士は在日米軍海兵隊太平洋基地の一つとして、沖縄県キャンプバトラー(瑞慶覧)司令部に属し、陸上自衛隊と共同使用している東富士演習場での在沖海兵隊の砲兵実弾射撃訓練の支援や兵站を実施し、東日本大震災のような災害に際しては支援を実施しています。

当局は東・北富士演習場での在沖海兵隊の県道104号線越え実弾射撃移転訓練にあたり、キャンプ富士と共に同訓練を支援しています。



写真：【参加者左から2人目：土本局長】

## 掃海艦「あわじ」命名・進水式

平成27年10月27日(火)、ジャパン マリンユナイテッド株式会社横浜事業所鶴見工場において、掃海艦「あわじ」（平成25年度契約、全長67メートル、基準排水量690トン）の命名・進水式が行われました。



写真：黒江防衛事務次官

式典では、防衛省代表として黒江防衛事務次官のほか、村川海上幕僚副長、井上横須賀地方総監、南関東防衛局からは土本南関東防衛局長、その他多数の防衛省関係者や会社関係者等、約300人が見守る中、本艦は「あわじ」と命名され、黒江防衛事務次官の支綱切断により進水しました。

掃海艦「あわじ」は、海上自衛隊初のFRP掃海艦（FRP船体としては4隻目）です。本艦は、最新のソーナーシステムを有するとともに、新型装備品も多数取り入れ、掃海・掃討能力を向上させています。

平成26年2月に起工、平成29年3月に就役し、海上自衛隊に配備される予定です。



写真：左から3人目 土本局長



写真左右：掃海艦「あわじ」



## 在日米軍従業員永年勤続者表彰



写真：座間地区（受賞者、来賓者及び主催者による記念撮影）

平成27年10月30日、ハーモニーホール座間（座間市緑ヶ丘）において、座間地区の平成27年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、永年にわたり在日米軍基地に勤務してきた従業員の労をねぎらい、労働意欲等の向上を図るため日米の共催により毎年実施されているものです。

式典では、日米両国の国歌吹奏、土本南関東防衛局長及びパスカレット在日米陸軍司令官からの式辞に続き、40年、30年、20年及び10年勤続者の計217名の方々に表彰状及び記念品が授けられました。その後、遠藤座間市長から来賓祝辞を頂き、受賞者代表挨拶をもって閉式しました。

南関東防衛局管内では、座間地区のほか、10月9日に富士地区で、また、同月23日に横須賀地区で永年勤続表彰式がそれぞれ開催され、3地区で合計667名の方々が受賞されました。



写真：横須賀地区（土本局長式辞）



写真：富士地区（受賞者、主催者による記念撮影）

土本 英樹 南関東防衛局長からの新年の挨拶



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

振り返りますと、昨年は南関東防衛局にとって、これまで取り組んできたことが結実する一方で、新たな取り組みが始まった重要な1年であったと強く感じます。

まず、地元の皆様のご協力を得て、平成27年3月31日に第十一次東富士演習場使用協定が締結され、平成32年3月までの同演習場の安定的使用を継続することができました。

また、6月30日には、上瀬谷通信施設の全部返還（約242ha）が実現し、これにより横浜市内に所在する米海軍の6施設・区域の返還予定面積のうち、約90%にのぼる約375haが返還されたこととなります。

次に地元との調和を図るといふことに目を向ければ、池子住宅地区及び海軍補助施設において共同使用されている一部土地（約40ha）が2月1日、池子の森自然公園として開園し、11月14日には、逗子市等のご協力とご支援の下、日米交流を図るためのスポーツイベントを開催することができました。

さらにキャンプ座間の一部返還予定地（約5.4ha）については返還に向けた条件工事が順調に進捗しています。当該土地の一部には座間市が今年4月に座間総合病院の開業を計画していることから、当局としてはこの計画に支障が出ることがないように努めてまいりました。

他方では、わが国を取り巻く安全環境が厳しさを増している状況下で、横須賀海軍施設では、地元横須賀市等のご理解とご協力を得て、原子力空母が交代すると共に、イージス艦の追加配備等も進められているところです。

昨年までの成果は、関係者の努力の積み重ねの結果であると考えます。ご支援、ご協力をいただいた地方自治体関係者や地域の皆様、そして米軍の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

引き続き関係自治体、住民の皆様との信頼関係を築きつつ、自衛隊及び米軍とも連携を図りながら、防衛施設の安定的使用と民生との調和を図るといふ当局の任務に全力で邁進してまいり所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

イベント情報

『第27回防衛問題セミナー開催』

日時：平成28年1月26日（火）開場18:00 開演18:30

場所：神奈川県民ホール 小ホール

アクセス：みなとみらい線「日本大通り駅」下車 徒歩6分

JR根岸線「関内駅」下車 徒歩15分

入場無料

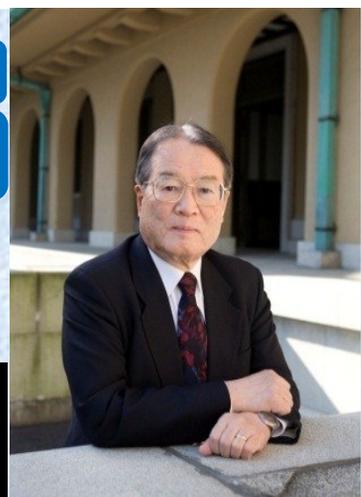
定員433名  
事前申込制

わが国の安全保障環境への対応と沖縄基地負担の軽減にむけて

防衛大臣政策参与、拓殖大学特任教授 森本 敏

申込方法：聴講を希望される方は、防衛問題セミナーのチラシの裏面用紙又は南関東防衛局のホームページから参加申込用紙を入手し、FAX、E-mail又は郵送でお申し込み下さい。定員に達し、入場できない場合のみご連絡いたします。

お問い合わせ：南関東防衛局 企画部地方調整課  
電話：045-211-7102



南関東防衛局広報紙「南関防衛」冬号(第2号)

年4回発行 編集／発行 南関東防衛局 〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内

(お問い合わせ)045-211-7129